

第14回中学校野球選抜対抗戦北茨城大会

実施要項

- 1 目的 茨城県内と福島県いわき地区の中学校が野球を通じて、親睦を深めると共に野球技術の向上及び青少年の育成を図る。
- 2 主催 北茨城市
- 3 主管 北茨城市教育委員会
- 4 後援 北茨城野球連盟、北茨城市中学校体育連盟
- 5 期間 令和4年11月5日(土)・6日(日)・12日(土)・13日(日)
予備日 令和4年11月19日(土)・20日(日)
○開会式 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、行いません。
○競技開始 午前8時30分～
- 6 試合会場 磯原地区公園野球場 TEL 0293-43-2768
- 7 表彰 優勝(賞状, 優勝旗, 優勝楯, メダル) 準優勝(賞状, 準優勝楯, メダル)
第三位(賞状, 第三位楯) 2チーム 個人賞(最優秀選手賞, 敢闘賞)
- 8 出場校 北茨城市、高萩市の中学校及び茨城県内5地区並びにいわき地区の中学校体育連盟より推薦された中学校。
- 9 規則 2022年公認野球規則・2022年競技者必携及び大会特別ルールによる。
- 10 使用球 (財)全日本軟式野球連盟公認球ナガセケンコーボールM号を使用する。
- 11 競技方法 16校によるトーナメント戦とする。
(1) 参加チームは、試合開始40分前までに到着し、必ず本部に届けること。その際に大会本部指定のメンバー表(1試合分5通)を受け取る。また、理由の如何を問わず試合開始予定時刻を過ぎて到着がないときは、棄権とみなす。
(2) 次の試合を行うチームは、4回終了時に本部にメンバー表5通提出し攻守を決める。
(3) 試合は、全試合7回戦とし1時間40分を超えて新しいイニングに入らない。7回を完了して同点の場合は、新しいイニングに入らないで、タイブレーク方式で勝敗を決する。タイブレーク方式は、競技者必携によるタイブレーク方式とする。なお、決勝戦に限り時間の制限はなしとする。
(4) コールドゲームは、5回以降7点以上得点差があった場合、全試合に適用する。
(5) シートノックは5分以内とする。ただし、試合の進行状況によっては省くこともある。
(6) 使用する金属バットは、(財)全日本軟式野球連盟公認(JSBB)マーク入りであること。
(7) 危険防止のため、捕手はJSBB公認のマスク・プロテクター・レガース・ヘルメット及びフェールカップを着用すること。また、打者・次打者・走者及びベースコーチは、JSBB公認の両耳付きヘルメットを使用すること。
(8) シートノック時の捕手及び補助員はヘルメットを着用すること。
(9) チーム構成は、選手20名、部長、監督、コーチ、校長または代理の者各1名の計24名とする。
(10) ベンチは、抽選番号の若番を一塁側とする。監督は必ずユニフォームを着用し、ベンチ内は禁煙とする。
- 12 問合わせ 北茨城市役所 生涯学習課 スポーツ振興係 〒319-1592 北茨城市磯原町磯原1630
TEL 0293-43-1111 FAX 0293-42-0454
- ※当日、雨天等による順延の場合は、午前5時30分から順次各チームの監督へ連絡をいたします。
- 13 組合わせ 北茨城市中学校体育連盟軟式野球専門部の立会いのもとに、主催者側で行う。
- 14 その他 (1) 大会期間中における参加者の傷害等は、独立行政法人日本スポーツ振興センター法の適用となる。
(2) 参加負担金(1チーム 1,000円)当日に徴収いたします。
(3) 新型コロナウイルス感染症対策に伴う中学校野球選抜対抗戦北茨城大会実施ガイドラインを遵守すること。

大会特別規則

- 1 正式試合 正式試合になる回数を5回とする。
- 2 タイブレイク 継続打順で前回の最終打者を一塁走者として、二塁の走者は順次前の打者とする。無死一、二塁で1イニングを行い得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、更に1イニングを継続打順で行う。決勝以外のタイブレイクは、9回までとし、決着がつかない場合は、出場している9人による抽選を行い、勝敗を決定する。なお、各塁に位置するものは、背番号をバックネットに向け、本部または記録員の確認を受けるものとする。
- 3 特別継続試合 暗黒及び降雨などで、試合が中止になった場合、5回以前に中止になった場合（ノーゲーム）でも、また、5回を過ぎて正式試合になって、同点の試合が中止の場合でも原則として再試合としないで、翌日の第1試合に先立って特別継続試合を行う。
- 4 特別継続試合の再開
 - イ もとの試合が中断された箇所より再開する。
 - ロ チームの出場者と打撃順は、試合が中断された時と全く同一でなければならない。ただし、規則によって認められる交代は許される。
- 5 投手の投球制限 特別延長戦を含み1日1試合までとし、ダブルヘッターの場合は、必ず投手（前の試合に登板したすべての投手）を代えることとし、連投は禁止とする規定は、適用しない。
- 6 監督またはコーチが、投手のところへ行く回数の制限
監督・コーチ等が1試合に投手の所へ行ける回数は3回以内とする。また、野手（捕手も含む）が1試合に投手の所へ行ける回数も3回以内とする。なお、どちらも延長戦（タイブレイク含む）は、2イニングに1回行くことができる。野手が投手の所へ行った場合、そこへ監督またはコーチが行けば、双方1度として数える。（逆の場合も同様とする。）投手が交代する場合は、上記の回数には含まれない。
- 7 攻撃側のタイムの回数制限
攻撃側のタイムは、1試合に3回以内とする。なお、延長戦（タイブレイク戦も含む）は2イニングに1回とする。
- 8 バッテリーのブルペン使用について
次の試合のバッテリーがブルペンで投球練習できるのは、メンバー交換後、先発バッテリーに限って投球練習することを認める。

競技運営に関する注意事項

1 競技上の確認事項

- (1) 出場メンバーは、1～20番の背番号をつける。
- (2) ボールボーイ2名、SBO2名を補助員として指定されたチームは用意する。
- (3) ハイカットや靴下状のストッキングは禁止とする。
- (4) バッティンググローブの着用は可とする（色は黒か白）。塁に出た時にコーチャーに渡すのは禁止とする。
- (5) 試合開始及び終了時、全選手が集まっての整列は行わず、キャプテンのみで行うこととする。

2 その他

- (1) 試合球及びロージン、メンバー表は大会本部で用意いたします。
- (2) 監督・引率教諭の弁当は、各自で用意するようお願いいたします。ただし、審判員として割り当てられた教諭の弁当については大会本部が用意します。
- (3) 公共施設を大切に、ゴミのない大会にしましょう。（各校の選手、応援者は会場のごみを持ち帰ること）
- (4) 駐車場は指定された場所を利用してください。（別紙案内図のとおり）
※バスでお越しの際は、臨時駐車場を利用してください。